

5月13日(日曜日)

4:50 散策・偵察 天候が予想通り霧。8時頃から雨が降り出す予報なので、雨が降り出す前に、付近の偵察を兼ね散策することにした。

5:03 頂上お花畑 喜蔵院から伸びる長い石積の階段を登りきると広い境内を持つ大峯山寺があった。さらに100mほど登ると、「頂上お花畑」の標識。

5:07 大峯山寺 山頂から大峯山寺まで降りてくると、山伏姿の修験者含むグループが16人ほど登ってきて、寺の前で、読経が始まった。どこかの宿坊に泊まっていて、朝早くお参りに来たようだ。



5:03 頂上お花畑



5:07 大峯山寺と山伏



5:08 大峯山寺と山伏の読経

6:46 散策と偵察2 6時の朝食後、まだ雨は降りださないで、再度、今度はゆっくりと、偵察を兼ねた散策に出かけた。宿坊の主人には連泊が決定の旨連絡。



6:46 喜蔵院全景

大峯山寺

大峯山寺(おおみねさんじ)は、奈良県吉野郡天川村にある修験道の寺院である。大峯山山上ヶ岳の山頂に建つ。平安時代初期から現在に至るまで女人禁制で、毎年5月3日に戸開式(とあけしき)、9月26日に戸閉式(とじめしき)が行われる。世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部として登録されている。役行者霊蹟札所。

By ウィキペディア <https://ja.wikipedia.org/wiki/大峯山寺>

6:47 大峯山寺参道



6:47 大峯山寺参道



6:47 大峯山寺参道門



6:49 大峯山寺妙覚門

喜蔵院のご主人(支配人)は神崎士郎さんだ。龍谷大学を中退。写真家としても活躍。

<https://tamashiful.exblog.jp/>

<https://cafez.exblog.jp/16684007/>



6:50 大峯山寺妙覚門



6:50 大峯山寺



6:54 鉄下駄と鉄錫杖



6:53 大峯山寺全景パノラマ

6:59 大峯山山頂と大峯山寺境内

本道の向かい側にある絵馬堂には、沢山の絵馬が奉納されている。江戸時代のもあった。



6:59 大峯山山頂・湧出岩



7:00 大峯山頂上日本岩



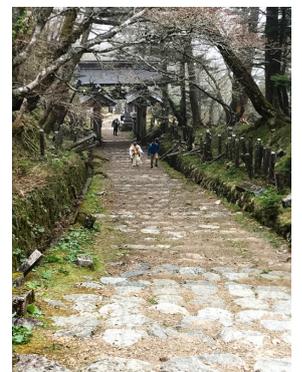
7:01 大峯山山頂・三角点



7:04 大峯山・頂上お花畑と小道



7:08 大峯山寺本道内部



7:08 大峯山寺参道と妙覚門



7:11 大峯山参道門上から



7:35 大峯山参道門と山伏



7:39 龍泉寺



7:41 バイケイソウなど



7:41 洞川方面遠景



7:42 西の覗への木道

7:52 西の覗

誰も居ない静かな西の覗に寄った。50年前に登った初めての山が、山上が岳だ。西の覗で、太い綱に繋がれて体を岩場から乗り出して、修行まがいの事をしたのを覚えている。眼鏡をはずしての修行なので、崖の下は良く見えなかったが、ポケットから小銭が落ちて岩に当たる音が聞こえたのを覚えている。



7:52 西覗岩の小屋



7:53 西覗岩と岩峰



7:53 西覗岩から覗く



7:54 西の覗祠



7:58 西の覗・石碑



7:58 岩場道

8:18 裏行場

一番近い裏行場に行ってみた。実際に行をするには宿坊のご主人の同伴が必要とのこと。その後、再度大峯山寺に戻り、明日のコースを確認する。鉄下駄と鉄錫杖があった先を進むようだ。

昨日、洞川茶屋の手前の鎖場付近で追越した若い男性が、歩いてきた。私に小笹の宿方面の道を確認した。本日の目的地を訪ねると、「行けるところまで」とのことだった。



8:17 オオカメノ木 3@裏行場



8:23 エンレイソウ 3 輪



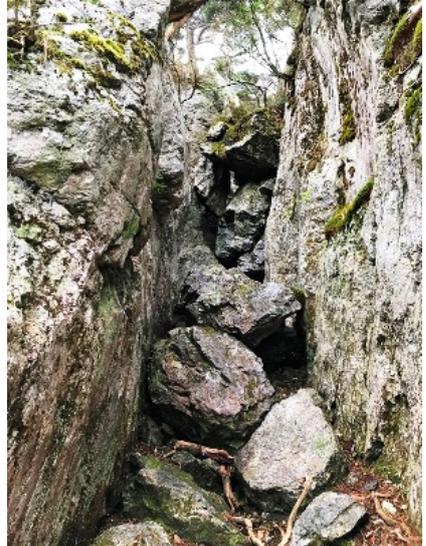
8:35 ヒメイチゲか？



8:18 裏行場と座像



8:18 裏行場と鎖場



8:19 裏行場のチムニーアップ



8:33 大峯山寺行場？



8:41 山頂・芭蕉俳句

停滞 9時過ぎには小雨が降り出した。時間の経過とともに雨脚は強くなった。時間があつたのでご主人から大峯山が世界遺産に選定された経緯や、女人禁制の宗教的な意味などを説明していただいた。大変勉強になった。ご主人は世界遺産申請時のメンバーの一人だとのことだった。

またこの宿坊ではWi-Fiが利用可能とのこと、SSIDとKEYを教わり、部屋に戻って山行の整理などに利用させて頂いた。

喜蔵院には、ご主人の他に、もう一人30歳代に見える若い人が働いていたが、今日下山するとのこと。連休後は、修行者も少ないようだ。